

災害発生時における被災車両処理に関する 連携体制のご提案



エートス協同組合

| | | |
|------------------------|-------|-------------|
| 1. エートス協同組合について | ————— | P.3 |
| 2. 災害支援のご提案 | ————— | P.8 |
| 3. その他ご提案 | ————— | P.21 |
| 4. 参考資料 | ————— | P.29 |
| 5. 組合概要 | ————— | P.32 |

1. エートス協同組合について

国内で多発する自然災害

■ 2022年 主な気象災害

8月 線状降水帯発生
(東北、石川、新潟)



9月 台風14号 (宮崎)



9月 台風15号
(静岡)



2022年も各地で甚大な水害が発生

私たちは、便利で豊かな生活を求め、
とめどなく資源を消費してきた。

その結果、私たちが排出し続けてきた温室効果ガスは
地球の生態系に深刻な影響をもたらしている。

これ以上、将来に負の遺産を残してはいけない。

子や孫たちが、安心して暮らせる未来を願い、
Zero Emissionに貢献する。

クルマ業界の中小企業にもできることがある。

力を合わせ、地球規模で。

エートス協同組合

災害支援

- ・被災車両の引取、処分による早期復興支援
- ・ユーザーの経済的、心理的負担の軽減に寄与

環境保全

- ・損害車の再生、パーツ利用、素材利用により産業廃棄物の低減やCO2削減に貢献

人材の還流

- ・積極的な人材活用による業界の活性化
- ・外国籍人材の受入、還流による新興国の経済発展への寄与

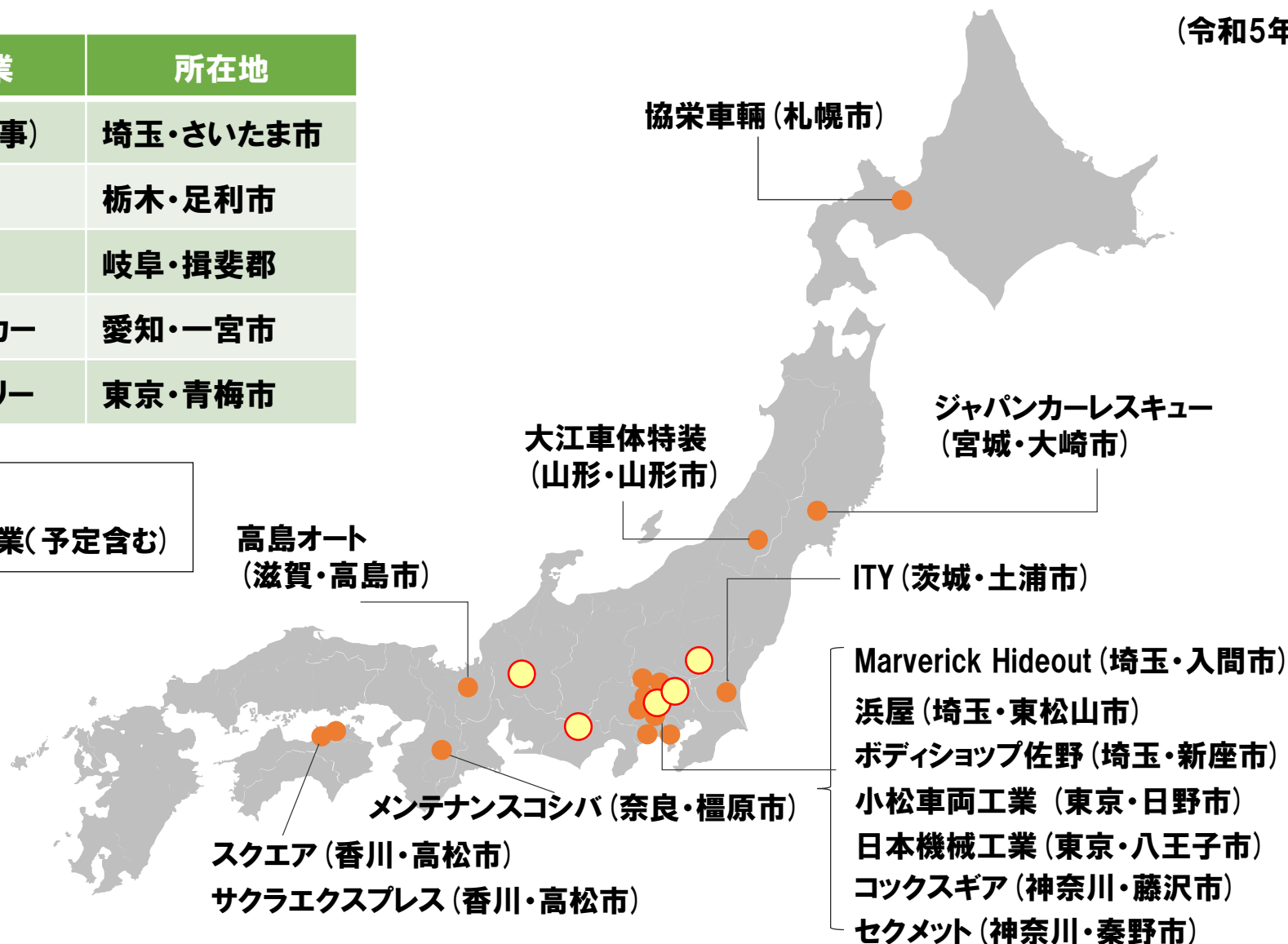
2022年10月、エートス協同組合を発足

組合会員・加盟状況

(令和5年6月現在)

| 理事企業 | 所在地 |
|----------|----------|
| タウ(代表理事) | 埼玉・さいたま市 |
| エコアール | 栃木・足利市 |
| セントパーツ | 岐阜・揖斐郡 |
| タケヒロレッカー | 愛知・一宮市 |
| ワールドキャリア | 東京・青梅市 |

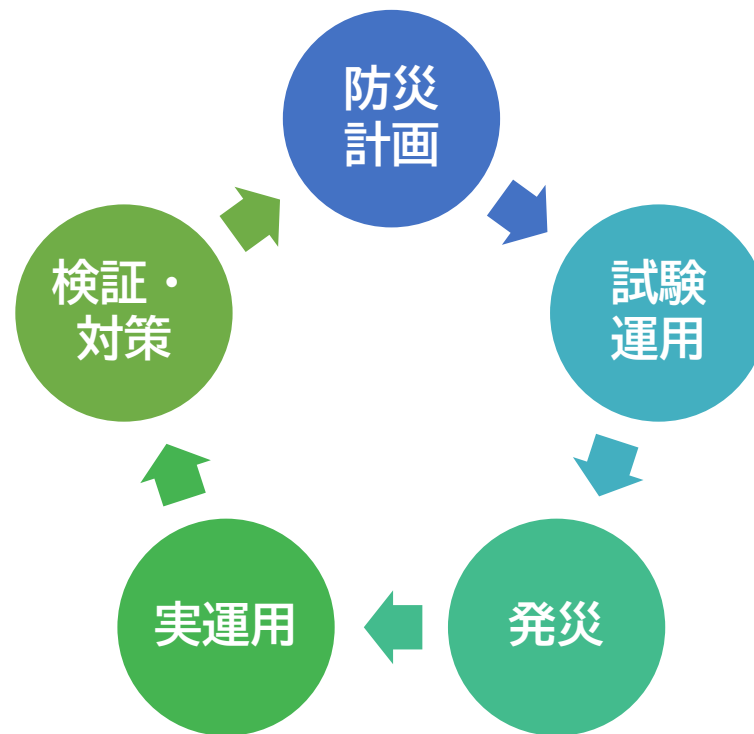
- 理事企業
- 正会員企業(予定含む)



2. 災害支援のご提案

ご提案の背景・趣旨①

国土交通省が推進する「**水防災意識社会**」を再構築する取組みに向けたご支援を行います。
『**施設では守り切れない大洪水は必ず発生する**』ことを念頭に、災害への備えを提案いたします。



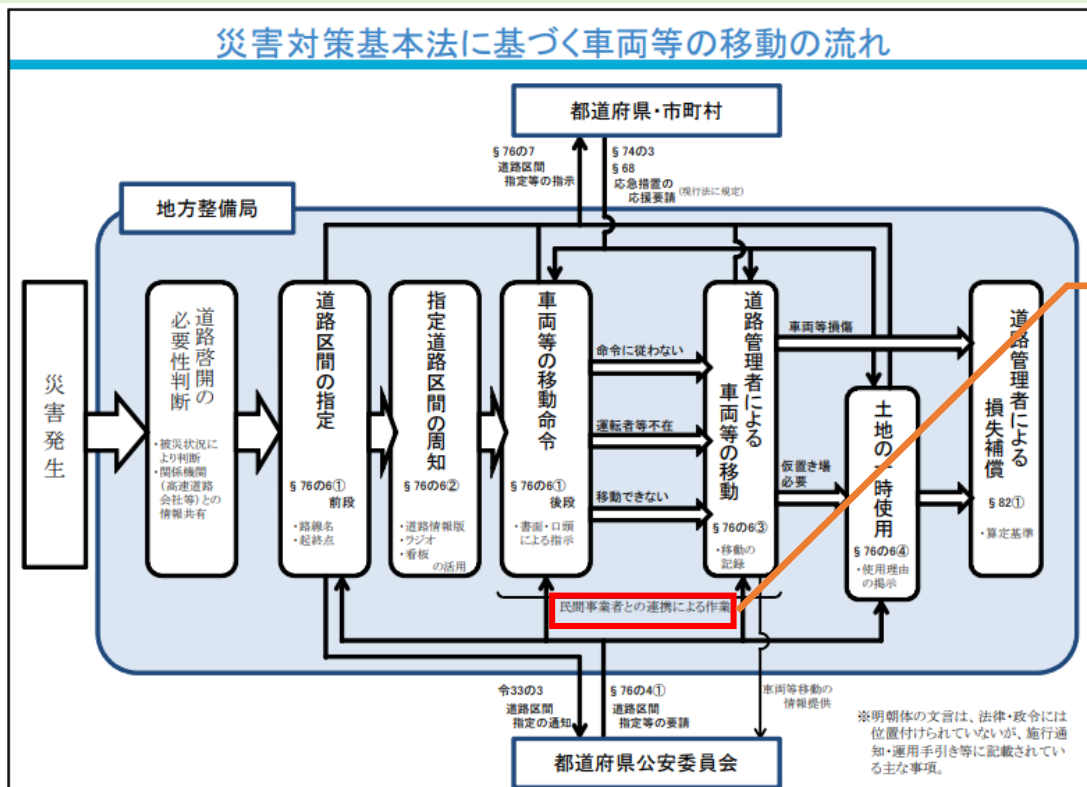
出典: 国土交通省HP参照(<https://www.mlit.go.jp/river/mizubousaivision/point.html>)

地域や住民を守るための対策を当組合がお手伝いいたします。

ご提案の背景・趣旨②

■ 災害対策基本法 (H26.11改正) 「車両移動に関する運用手引き」より抜粋

大規模な災害発生時における道路管理者による放置車両・立ち往生車両等の移動に関する規定が盛り込まれた。道路管理者が車両の移動等を行おうとする場合には、民間事業者による応援・協力体制など、発災時に関係者で連携して速やかな道路啓開が行われる体制を構築されたい。



図：災害対策基本法に基づく車両移動の流れ

災害対策基本法に基づき、発災時の道路啓開に関する連携体制構築をご提案

自治体



- ・放置車両による緊急車両通行の妨げ
- ・個人資産である被災車両の取り扱い
- ・車両撤去時の損傷トラブル
- ・被害を想定した実用的な防災訓練不足

地域住民



- ・被災車両を早く処分したい
- ・水没した車両の扱い方がわからない
- ・一日も早く元の生活に戻りたい

エートス協同組合各社のリソースを活用した支援をご提案いたします

被災車両の移動・処理に関する支援のご提案

1



道路啓開

- ・迅速な人命救助や物資輸送に寄与
- ・個人資産として適切に保管

2



被災車両の処理に関するサービス

- ・修理、買取、廃車など車両処理に関する相談窓口及びサービス対応

3



復興支援

- ・レンタカーの無償レンタル
- ・中古車の優先販売

被災車両の移動～処理～復興支援までを一気通貫で対応

活動フローと対応スケジュール

■被災車両引取フロー



■対応スケジュール

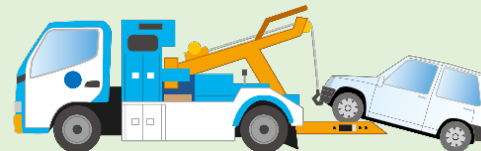
| 経過日数 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 |
|------------|---|-------------|---|---|-----------------------|---|---|---|---|----|
| 水害発生 | | | | | | | | | | |
| 出動要請・土地情報 | | | | | | | | | | |
| 土地確保 | | ご相談① 土地のご紹介 | | | | | | | | |
| 出動手配 | | | | | | | | | | |
| 車両輸送・保管 | | | | | | | | | | |
| 情報共有・所有者対応 | | | | | ご相談② 問い合わせ窓口の設置・所有者照会 | | | | | |

**災害協定締結により、発災翌日より初動体制を構築
迅速な初動対応で被災地域の早期復興に寄与いたします**

災害支援の費用

発災から5日以内の依頼は無償対応

(通常レッカー費用:2~3万円/台)



6日目以降...



自治体の費用負担はなく、所有者へご請求

任意車両保険

加入者 (全国平均46.2%*)

未加入者

その他

レッカー費用

所有者の保険を適用

「廃車」「修理」を当組合へ依頼
費用負担なし

損害保険料率算出機構「2021年度自動車保険の概況」より
(共済の数字は含まず)

費用請求につきましては、協議の上決定させていただきます

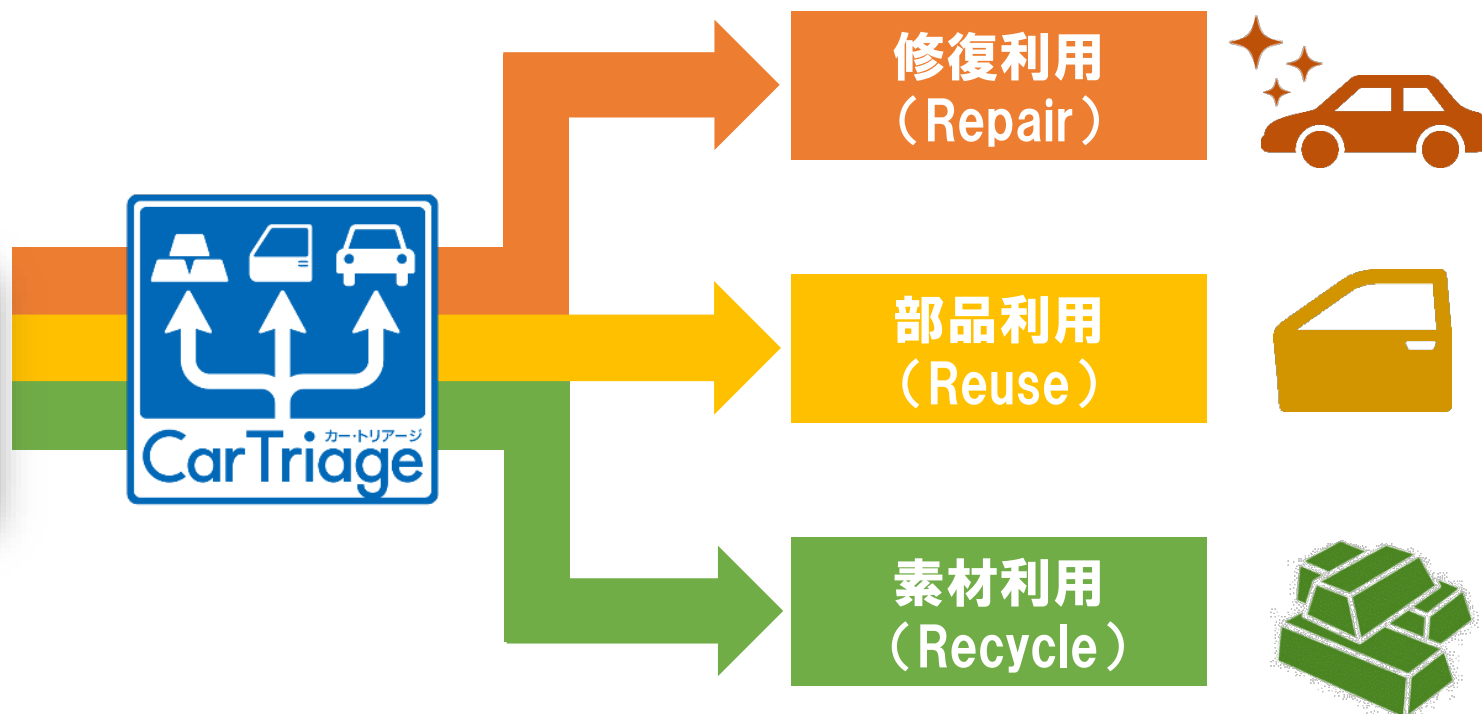
被災車両の適正な処分

Car (クルマ) + Triage (トリアージ=選別)

車両状態に応じて最適な処理方法を選択し、車両の価値を最大化する仕組み

2014年7月、当社と意慶応大学大学院との共同研究により提唱。

2023年1月、当社とEYストラテジー&コンサルティング社との共同研究により効果を再定義。



カー・トリアージの効果



当社とEYストラテジー・アンド・コンサルティング社との共同研究により、
カー・トリアージの効果を定量化（2023年1月）。

経済効果



損害車の買取価格は、
1台あたり平均 **30万円**^{*1}

環境効果



損害車の再利用により、
1台あたり **1,320kgのCO2削減**^{*2}
(スギの木150本のCO2吸収量と同等)

社会効果



新興国^{*3}での損害車リユースにより、
1年間で **失業率0.1%低下** (240人相当)
GDP350ドル/人上昇 (年間4%相当)

カー・トリアージにより、経済・社会・環境へ貢献

*1 2022年にタウで買取した損害車54,000台の平均買取金額

*2 「損害車をリユースし修復車・リサイクルパーツとして利用した場合」と「新車・新品パーツを製造し利用した場合」のCO2排出量を比較して算出

*3 モルディブにおける2021年10月～2022年9月の再利用の効果

直近の大規模水害対応事例 (株式会社タウ)

| | 2018年 西日本豪雨 | 2019年 台風19号 | 2020年 7月豪雨(九州) | 2022年 台風15号 |
|------------|--|---|--|--|
| 臨時ヤード | 15か所 | 21か所 | 4か所 | 9か所 |
| 引取り台数 | 6,400台 | 12,000台 | 2,800台 | 3,700台 (※輸送対応のみも含む) |
| 義援金 寄付額 | 560万円 | 1,200万円 | 290万円 | 180万円 |
| 活動風景 |  |  |  |  |
| |  |  |  |  |

対応事例(R4年 台風15号 発生時の対応)



事故車買取事業者2社、台風15号の被災地域に災害支援本部を設置 現地に開設したヤードで一時保管

2022.09.29 / 中古車流通

[ツイート](#) [シェアする](#)

[紙面で読む](#) [この記事をクリック](#)



台風15号で被災した地域に、事故車などの買い取りを手掛ける2社が災害支援本部を設置した。現地に車両保管ヤードを設置し、水車などで被災した車両を引き取り保管する。ユーザーからの買い取りにも対応するなど現場での対応力を高めて、早期の災害復旧に結び付ける。

タウ(宮本明彦社長、さいたま市中央区)は、15~24日に発生した台風14号、15号の被災地域の復旧に向けて「災害対策本部」を設置した。同社は現場の聞き取りにより、台風による被災車両台数を宮城県で3千台、静岡県で2万5千台を見込む。そのため、一時保管場所を宮城県北部に1カ所、静岡県は掛川地域に3カ所をそれぞれ設置する予定。被災地復旧支援チームとして約30人を動員し、被災車両の引き取りに対応する。

はなまる(岡崎和也社長、大阪市住之江区)は、台風15号で被災した東海地域の復興支援に向けて「災害復興支援チーム」を発足した。現地にチームを派遣して被災状況を確認するとともに、被災車両の引き上げ体制強化に向けて、レッカー事業者や陸送事業者との連携を図る。また、同社が管理する車両保管ヤードで被災車両の受け入れを無償で行う。

両社は、これまで台風や豪雨などの水害発生時に、災害支援チームを派遣するなど現場の冠水車の引き取りに対応している。今回もインフラなどの復旧の妨げとなる可能性がある車両の処理を後押しすることで、被災地域の生活基盤の再建に貢献していく考えだ。

災害発生と同時に常設4SCに加えて、9か所の臨時SCを設置し、3,700台の被災車両を引取り(輸送対応のみも含む)

現在の自治体連携状況

| | 締結時期 |
|-----------|-----------|
| 埼玉県 大宮警察署 | 2021年2月 |
| 栃木県 足利市 | 2022年11月 |
| 三重県 いなべ市 | 2022年11月 |
| 佐賀県 みやき町 | 2023年3月 |
| 愛知県 北名古屋市 | 2023年6月予定 |

※タウとして締結

三重県いなべ市

栃木県足利市

埼玉県 大宮警察署

佐賀県みやき町

愛知県北名古屋市



(警察訓練への車両提供)

● タウと締結

● エートスと締結

官民連携し災害対応力の強化、そして地域社会への貢献を目指します

海外における自治体連携



災害支援

- 被災車両の移動による道路啓開
- 被災車両の処理サービス



日本自治体との国際交流

- 文化、教育、都市開発などの分野で地域の強みや特性を活かした交流を提案

フィリピンをはじめ、海外自治体の課題解決に寄与

3. その他ご提案

<ご提案① 紹介販売> 災害支援車

■ 販売元: (株) 大江車体特装

災害支援車

LCX

Lifeline customization transformation



水道

350L/時間の
浄水能力



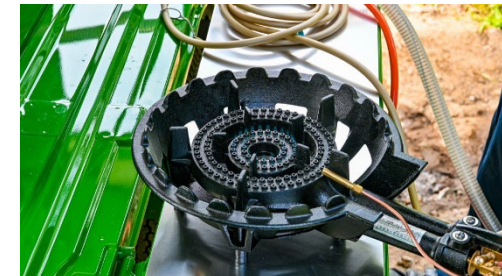
電気

20時間の
発電能力



ガス

20時間の
煮炊き能力



救命と救援活動の両面で能力を発揮する災害支援車

<ご提案① 紹介販売> ソーラーシステムハウス

■ 販売元:ダイワテック



無日照でも
3日間利用可能

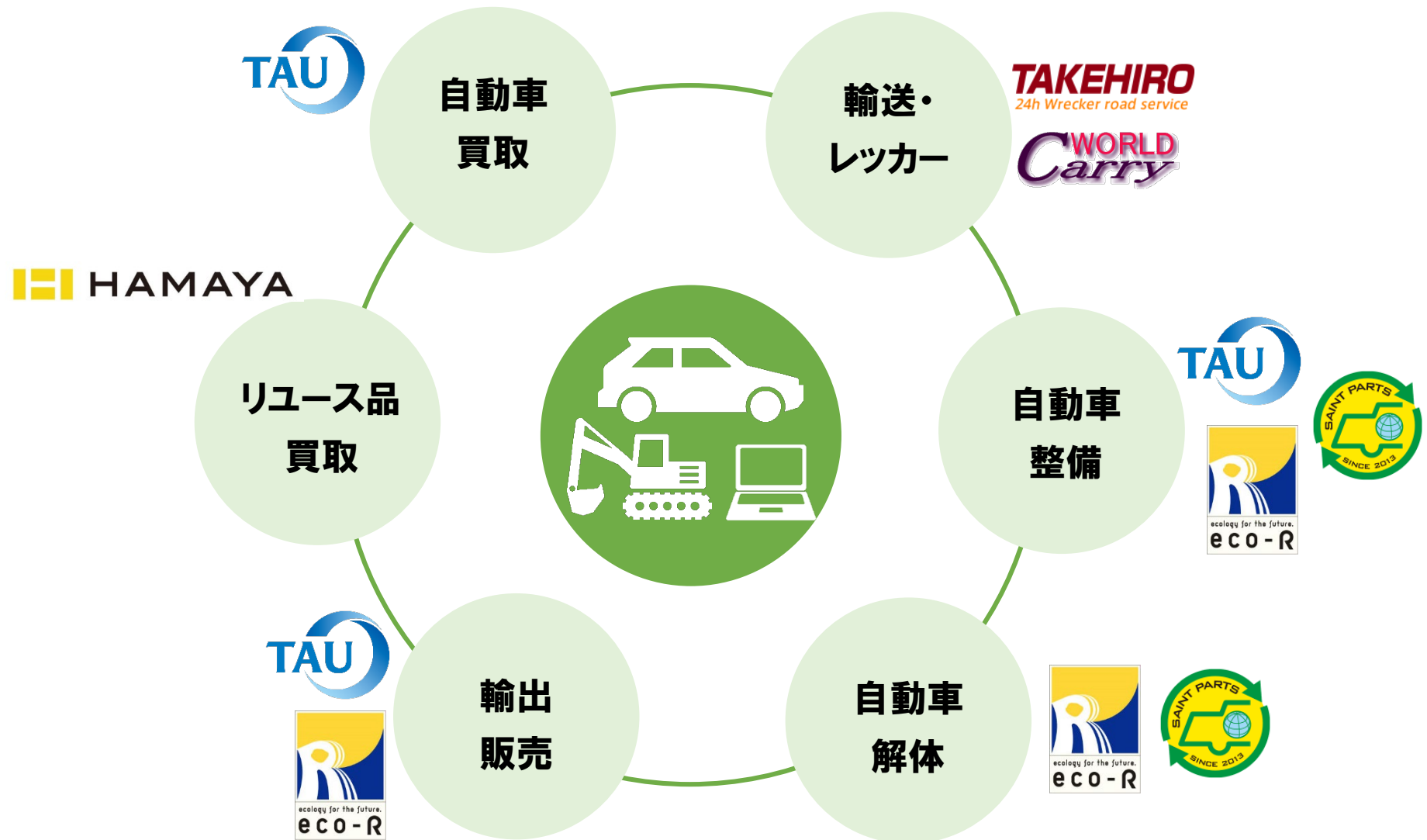
エアコン・
ブラインド・
床カーペット完備

電気工事・
発電機
不要



**太陽光を用いた環境にやさしいエコロジーハウス、
災害時に限らず、インフラ整備の無い場所でも電源確保が可能**

<ご提案② リユース物品の買取提案>



**買取、輸送、海外輸出、自動車整備、自動車解体など
様々な事業を展開する組合企業の連携により、多様な商材を高価買取**

<ご提案② リユース物品の買取提案> 買取可能商品-1

■ 海外輸出例

(下段は販売先国)



フィリピン



ベトナム



フィリピン



フィリピン



※自治体、組織名などは
確実に除去いたしますの
でご安心ください。

**インフラ整備や都市開発が進む新興国で高い需要が存在、
理事企業であるタウの販売オークションには世界13万社が参加し、透明性の高い取引を実現**

■ その他処分品の買取



行政取引実績：(官公庁) 農林水産省、陸・空・海自衛隊、

(栃木県) 小山広域保健衛生組合、佐野市 その他

リユース回収品



差押え品



**家電、オフィス用品、生活雑貨など国内ではニーズの少ない商品も買取り、
海外に向けてリユース・リサイクルをいたします**

エートス協同組合は、次世代のために、地球上の限りある資源を有効活用することで、「モノが大切にされ続ける循環型社会の実現」を目指してまいります。



**本資料に関するご質問は、
以下まで、どうぞお気軽にお問合せ下さいませ。**



Ethos
Cooperative Union
エートス協同組合

エートス協同組合 事務局 (村越・中島)

TEL 048-776-9733

MAIL info@ethos.or.jp

4. 參考資料

モータープール用地のご紹介について

■用地をご紹介いただける場合

| 項目 | 条件 |
|--------|---|
| 立地 | 住宅街から離れている場所 |
| 坪数 | 3,000坪以上 |
| 坪単価 | 500円／坪～ |
| 必要インフラ | <ul style="list-style-type: none">・水道完備(電気もあれば最良)・大型トレーラー侵入可・平地・砕石舗装(整地されていると最良) |
| 契約期間 | 最短1ヵ月～最長6ヵ月予定 |



■過去事例(令和元年台風19号)

| 所在地 | 坪数 | 保管台数 | 地面 | 坪単価(円) | インフラ |
|---------|-------|------|--------|--------|-------|
| 宮城県岩沼市 | 6,500 | 900 | 砕石 | 1,000 | 水道・電気 |
| 長野県北安曇郡 | 3,200 | 600 | アスファルト | 141 | 水道・電気 |
| 静岡県静岡市 | 4,300 | 700 | 砕石 | 350 | なし |

可能であればモータープール用地をご紹介頂きますと幸いです

足利市との災害協定締結式

■栃木県足利市役所

■協定締結日：2022年11月17日

■協定名称：『災害時における車両の移動に関する協定』

- ・市の管理する道路に発生した不動車両を路肩に移動
- ・市からは廃校や大学の敷地など、ヤード用地を紹介



5. 組合概要

組合概要

- 組合名称 :エートス協同組合(英語表記:Ethos Cooperative Union)
- 所在地 :埼玉県さいたま市大宮区高鼻町2-1-1
- 組織構成 :輸送・レッカー、整備、自動車解体、自動車販売の企業
- 事業地区 :栃木県・埼玉県・東京都・千葉県・愛知県・岐阜県、順次全国へ拡大
- 事業内容 :1.災害連携協定締結に伴う、被災車両撤去・保管・解体
2.共同販売事業
3.有料職業紹介事業
4.登録支援機関の運営
5.技能実習生受入事業

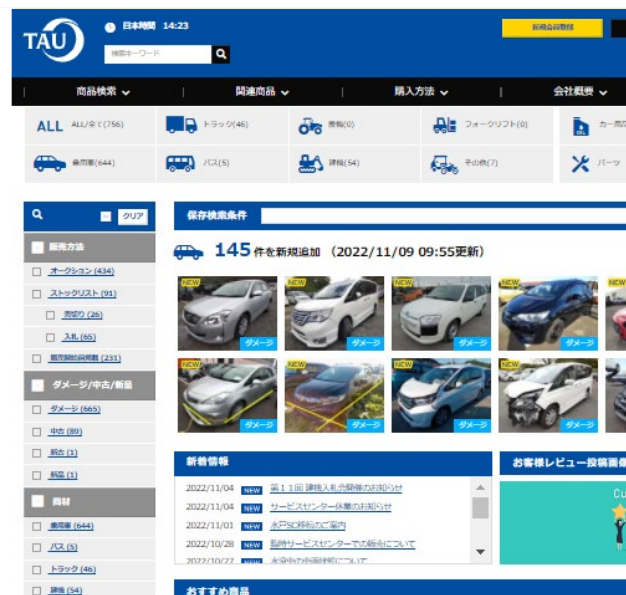
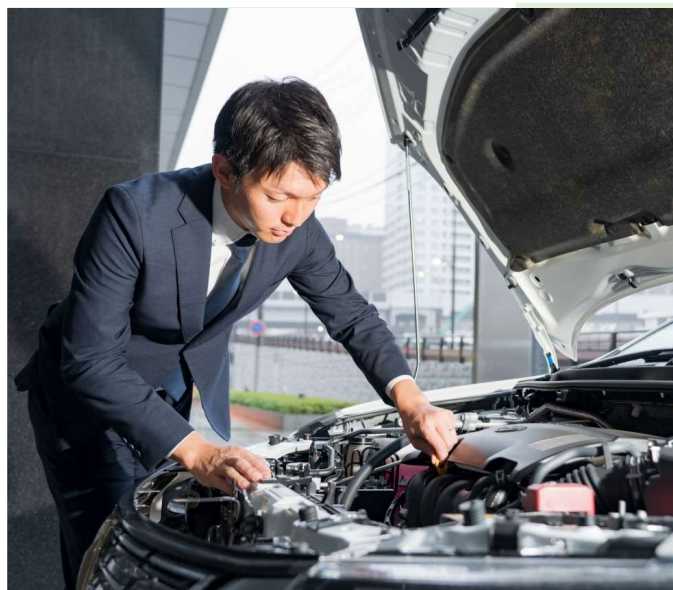
- アクセス :JR大宮駅から徒歩11分



旧大宮図書館の再生事業による貸出物件(2階2-9号室)

株式会社タウ

- 会社名 : 株式会社タウ
- 代表者 : 宮本 明岳
- 所在地 : 埼玉県さいたま市中央区新都心11-2 LAタワー10F
- 業種 : 自動車・トラック、自動車パーツ、オイル等の買取・販売・輸出、オークション、人材サービス、福祉輸送
- 設立年 : 1997年6月
- 従業員数 : 447名



<理事企業紹介>

株式会社エコアール

- 会社名 : 株式会社エコアール
- 代表者 : 石井 浩道
- 所在地 : 栃木県足利市久保田町838-1
- 業種 : 自動車解体、中古部品卸売、自動車小売、車検整備、钣金
- 設立年 : 1966年11月
- 従業員数 : 133名



セントパーツ株式会社

- 会社名 : セントパーツ株式会社
- 代表者 : 種谷 謙一
- 所在地 : 岐阜県揖斐郡大野町本庄1025-25
- 業種 : 自動車リサイクル、中古部品・中古車販売、車検整備、日用品販売
- 設立年 : 2013年3月
- 従業員数 : 34名



※タンザニアのグループ企業様

株式会社タケヒロレッカー

- 会社名 : 株式会社タケヒロレッカー
- 代表者 : 武岡 謙二郎
- 所在地 : 愛知県一宮市伝法寺5-4-11
- 業種 : ロードサービス、一般貨物自動車運送、レンタカー、中古車販売
- 設立年 : 2002年3月
- 従業員数 : 50名



有限会社ワールドキャリー

- 会社名 : 有限会社ワールドキャリー
- 代表者 : 吉永 光宏
- 所在地 : 東京都青梅市今井1-236
- 業種 : 陸送・重機回送・故障車引上げ、中古車・建機買取・販売・修理
- 設立年 : 1965年6月
- 従業員数 : 50名



※スリランカのグループ会社様